

第 11 章 準備書から修正した個所及び内容の一覧

(空白)

第11章 準備書から修正した個所及び内容の一覧

11.1 準備書から修正した個所及び内容の一覧

環境影響評価準備書から環境影響評価書への見直しにおける修正の内容を表 11.1-1(1)～(14)に示す。

表 11.1-1(1) 準備書から評価書への修正の内容

目次	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
目次	山梨県の環境アセスメント（環境影響評価手続きの手引き）（山梨県 令和 5 年 4 月）に基づき、目次構成を変更した。
第 1 章 事業計画の概要（準備書 第 1 章、第 2 章）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 2-1(3) 2.3 対象事業の規模	p. 1-1(1) 1.2.3 対象事業の規模 基本設計報告書の確定に伴い、1 時間あたりの処理能力の合計を 15 トン（約 361 トン/日）から、約 11.4 トン（約 274 トン/日）に変更した。
p. 2-9 (11) 1) 計画の概要	p. 1-9(9) 1) 計画の概要 基本設計報告書の確定に伴い、更新した。
p. 2-10 (12) 図 2.6-1	p. 1-10(10) 及び 1-11(11) 図 1.4-1(1) 及び(2) 基本設計報告書の確定に伴い、配置図を変更した。
(なし)	p. 1-12(12) 表 1.4-5 基本設計報告書より、配置・動線上の配慮事項を追記した。
p. 2-13(15) 図 2.6-4(1)、(2)、図 2.6-5	p. 1-14(14) 及び 1-15(15) 図 1.4-4 及び図 1.4-5 基本設計報告書の確定に伴い、処理フローを変更した。
p. 2-15(17) 6) 排水計画	p. 1-16(16) ⑥排水計画 基本設計報告書の確定に伴い、内容を変更し、フローを追加した。
p. 2-15(17) 表 2.6-5	p. 1-16(16) 表 1.4-8 造成工事の期間を 1 年から 2 年に変更した。
p. 2-16(18) (2) 土地利用計画 本文及び表 2.6-6	p. 1-17(17) 表 1.4-9 基本設計報告書の確定に伴い、可燃ごみ処理施設と粗大ごみ処理施設が合棟であることを記載し、表に洗車場面積を追記した。また、緑地の概要を追記した。
p. 2-16(18) (3) 造成計画	p. 1-17(17) 3) 造成計画 焼却施設等を整備する地盤以外の地盤における盛土高さを、最大 2m とした。
(なし)	p. 1-17(17) 4) 景観計画 基本設計報告書の確定に伴い、4) 景観計画を追記した。
p. 2-17(19) 図 2.6-6	p. 1-18(18) 図 1.4-7 基本設計報告書の確定に伴い、土地利用計画の図を変更した。
p. 2-18(20) 表 2.6-7	p. 1-19(19) 表 1.4-10 基本設計報告書の確定に伴い、廃棄物搬入車両台数を変更した。
p. 2-18(20) (5) 用水計画	p. 1-19(19) 6) 用水計画 基本設計報告書の確定に伴い、用水計画を変更した。
p. 2-18(20) (6) 雨水排水計画	p. 1-19(19) 7) 雨水排水計画 基本設計報告書の確定に伴い、雨水排水計画を変更した。
p. 2-20(22) 図 2.6-9	p. 1-21(21) 図 1.4-10 基本設計報告書の確定に伴い、浸水対策イメージを変更した。
p. 2-22(24) (8) 環境保全対策	p. 1-23(23) 及び 1-24(24) 9) 環境保全対策 基本設計報告書の確定に伴い、環境保全対策を変更した。
(なし)	p. 1-25(25) 表 1.4-18 基本設計報告書より、公害防止基準一覧を追記した。
p. 2-24(26) (2) 工事工程	p. 1-26(26) 2) 工事工程 知事意見を受けて、説明会の実施に関する記述を追加した。
p. 2-24(26) 表 2.6-13	p. 1-26(26) 表 1.4-18 造成工事の期間を 1 年から 2 年に変更した。

表 11.1-1 (2) 準備書から評価書への修正の内容

第2章 関係地域（準備書 第10章）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 10-1 (1005) 10.2 関係地域	p. 2-1 (29) 2.2 関係地域（環境に影響をおよぼす地域） 大気汚染の再予測結果を反映した。
第3章 事業特性（新規）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
（なし）	新規に作成した。
第4章 地域特性（準備書 第3章）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
共通の変更	最新の情報に基づき更新した。
第5章 方法書、準備書に対する意見及び見解（準備書 第4章）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 4-10 (230) 4.1.2 方法書についての 公聴会の概要	p. 5-10 (232)～5-13 (235) 5.1.2 方法書についての公聴会の概要 事業者の見解を追加した。
（なし）	p. 5-18 (242)～5-46 (270) 5.2 準備書に対する意見及び見解 評価書作成にあたり追加した。
第6章 環境影響要因の把握（準備書 第5章）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
変更なし	
第7章 環境影響評価の項目（準備書 第6章）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 6-3 (241) 表 6.1-2	p. 7-3 (275) 表 7.1-2 知事意見に基づき、造成等の施工による一時的な影響による、粉じんについて、 影響環境影響評価を標準的に行う項目を調査することとした。
p. 6-4 (242) 表 6.1-3 (1)	p. 7-4 (276) 表 7.1-3 (1) 造成等の施工による一時的な影響による、粉じんについて、環境影響評価を行う 理由を追加した。
p. 6-15 (253) 表 6.1-3 (12)	p. 7-15 (287) 表 7.1-3 (12) 交通量の記載方法を騒音・振動等と統一した。
第8章 環境影響評価の結果（準備書 第7章）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
共通の変更	知事意見を受け、環境配慮事項及び環境保全措置の再検討を行うとともに、そ れぞれの不確実性を検討し、記載した。
	知事意見を受け、環境保全上の目標を再検討し、また目標の妥当性についても 検討を行い、記載した。 なお、環境保全上の目標について、法律等に基づいて示されている基準または 目標をもとに評価の指標（環境基準等）を設定し、予測結果を比較すること で、その整合性の評価を行った。また、予測に不確実性がある項目、そして効 果の数値化が困難な環境配慮事項及び環境保全措置（以下「環境保全措置等」 という。）の効果を確認する必要がある項目については、評価のための成功基準 を設け、事後調査によって環境保全措置等の効果を確認・評価することとし た。
	予測手法、予測条件、環境保全措置の不確実性について再検討を行い、不確実 性があるものについて事後調査を行うこととした。
	環境保全措置を講じる環境影響評価項目について、成功基準及びその妥当性を 記載した。
	項目間で構成の統一化を行った。

表 11.1-1(3) 準備書から評価書への修正の内容

第8章 環境影響評価の結果（準備書 第7章）	
8.1.1 大気汚染（準備書 7.1.1）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
(なし)	p. 8-1(289)、8-66(354)、8-162(450)、8-167(455)、8-170(458)、8-173(461) 造成等の施工による大気汚染への一時的な影響（粉じん）を追加した。
p. 7-12(266)～7-15(269) p. 7-32(286)、7-34(288)	p. 8-14(302)～8-17(305)、8-27(315)、8-28(316)、8-34(322)、8-28(314) 既存資料調査結果を最新のものに更新した。
p. 7-79(333) ウ) 予測結果のまとめ	p. 8-84(372) ウ) 予測結果のまとめ 大気汚染物質による植物等への影響について検討し、記載した。
p. 7-90 i 将来交通量	p. 8-96(384) i 将来交通量 搬入土量及び搬入車両台数の設定の考え方を記載した。
p. 7-103 (イ) 予測地点	p. 8-110(398) (イ) 予測地点 予測地点に最寄り人家を追加した。
p. 7-104(358) i 長期平均濃度	p. 8-111(399) i 長期平均濃度 年間を通じた影響の他、4季別、昼間・夜間別の予測を行うことを記載した。
p. 106(360) i 長期平均濃度	p. 8-113(401) i 長期平均濃度 使用した予測式を記載した。
p. 7-112(366) i 排出源条件	p. 8-119(407) i 排出源条件 煙突高さを50m～100mの間で設定して影響を予測することを記載した。
p. 7-112(366) 表 7.1.1-62	p. 8-119(407) 表 5.1.1-68 基本設計の確定により、予測に用いる排出源の諸元を変更した。
p. 7-112(366) 表 7.1.1-63	p. 8-119(407) 表 5.1.1-69 排ガス量を設定する際に用いた事例を更新した。
p. 7-121(375)～7-130(384)	p. 8-128(416)～8-137(425) 最寄り人家における予測結果を追加した。
p. 7-126(370)～7-130(384) 図 7.1.1-48～図 7.1.1-52	p. 8-133(421)～8-137(425) 図 8.1.1-48～図 8.1.1-52 図の背景に土地利用状況を記載した。
p. 7-121(375)～7-133(387)	p. 8-128(416)～8-137(425) 予測式、予測条件の変更に伴い、予測結果を更新した。
(なし)	p. 8-138(426)～8-143(431) 煙突高さ、季節、昼間・夜間による寄与濃度の変化を追加した。
(なし)	p. 8-146(434) 表 8.1.1-89 塩化水素について、煙突高さによる短期高濃度での寄与濃度の変化を追加した。
p. 7-133(387) ウ) 予測結果のまとめ	p. 8-147(435) ウ) 予測結果のまとめ 予測式を変更した理由を記載した。
p. 7-133(387) ウ) 予測結果のまとめ	8-147(435) ウ) 予測結果のまとめ 大気汚染物質による植物等への影響について検討し、記載した。
p. 7-157(411)、7-158(412) イ) 環境保全上の目標との整合性に関する評価	p. 8-182(470)、8-183(471) 予測式、予測条件の変更に伴い、予測結果を更新した。

表 11.1-1(4) 準備書から評価書への修正の内容

8.1.2 悪臭（準備書 7.1.2）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 7-169(423) 表 7.1.2-7	p. 8-193(481) 表 8.1.2-7 基本設計の確定により、予測に用いる排出源の諸元を変更した。
p. 7-170(424) 表 7.1.2-8	p. 8-194(482) 表 8.1.2-8 予測条件の変更に伴い、予測結果を更新した。
p. 7-173(427) 表 7.1.2-11	p. 8-201(489) 表 8.1.2-12 予測条件の変更に伴い、予測結果を更新した。
8.1.3 騒音（準備書 7.1.3）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 7-194(448)、7-195(449) 図 7.1.3-5、図 7.1.3-6	p. 8-224(512)、8-225(513) 図 8.1.3-5、図 8.1.3-6 図の背景に土地利用状況を記載した。
p. 7-204(458) 表 7.1.3-17 p. 7-205(459) 図 7.1.3-10	p. 8-235(523) 表 8.1.3-17、p. 8-236(524) 図 8.1.3-10 基本設計の確定により、予測に用いる騒音源から白煙防止用送風機を削除した。
p. 7-207(461) (イ) 予測結果	p. 8-239(527) (イ) 予測結果 予測条件の変更に伴い、予測結果を更新した。
p. 7-208(462) 図 7.1.3-11	p. 8-240(528) 図 8.1.3-11 図の背景に土地利用状況を記載した。
p. 7-218(472) 表 7.1.3-33	p. 8-256(544) 表 8.1.3-39 予測条件の変更に伴い、予測結果を更新した。
8.1.4 低周波音（準備書 7.1.4）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 7-225(479) 表 7.1.4-3	p. 8-265(535) 表 8.1.4-4 基本設計の確定により、予測に用いる騒音源から白煙防止用送風機を削除した。
p. 7-226(480) (イ) 予測結果	p. 8-267(555) (イ) 予測結果 予測条件の変更に伴い、予測結果を更新した。
p. 7-228(482) 表 7.1.4-9	p. 8-270(558) 表 8.1.4-10 予測条件の変更に伴い、予測結果を更新した。

表 11.1-1(5) 準備書から評価書への修正の内容

8.1.5 振動（準備書 7.1.5）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 7-224(498) 図 7.1.5-2	p. 8-289(577) 図 8.1.5-2 図の背景に土地利用状況を記載した。
p. 7-250(504) 表 7.1.5-15	p. 8-295(583) 表 8.1.5-16 基本設計の確定により、予測に用いる騒音源から白煙防止用送風機を削除した。
p. 7-251(505) (オ) 予測結果	p. 8-296(584)、8-297(585) (オ) 予測結果 予測条件の変更に伴い、予測結果を更新した（数値に変化は生じなかった）。
p. 7-252(506) 図 7.1.5-5	p. 8-298(586) 図 8.1.5-5 図の背景に土地利用状況を記載した。
p. 7-261(515) 表 7.1.5-27	p. 8-312(600) 表 8.1.5-33 予測条件の変更に伴い、予測結果を更新した（数値に変化は生じなかった）。また、備考の誤記を修正した。
8.1.6 水質（準備書 7.1.6）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 7-274(528) ① 現地調査	p. 8-328(616) ② 現地調査 現地調査時の水質の汚染の有無について記述を追加した。
p. 7-277(531) ① 現地調査	p. 8-331(619)、8-332(620) ② 現地調査 採水深さ等の調査方法及び現地調査時の水質の汚染の有無について記述を追加した。
p. 7-280(534) イ) 調整池条件及び流域面積	p. 8-336(624) イ) 調整池条件及び流域面積 基本設計の確定により、調整池面積を変更した。
p. 7-284(538) カ) 排水先水路における浮遊物質濃度の算出	p. 8-340(628) カ) 排水先水路における浮遊物質濃度の算出 予測条件の変更に伴い、予測結果を更新した。
(なし)	p. 8-340(628) キ) 平水時の排水水質 平水時の影響について予測を行った。
p. 7-285(539) (オ) 予測結果	p. 8-343(631) (オ) 予測結果 井戸の設置及び地下水のくみ上げによる地下水汚染の可能性に関する検討を行い、追記した。
p. 7-289(543) (ア) 環境影響の回避・最小化・代償に沿った配慮に関する評価	p. 8-348(636) ア) 環境影響の回避・最小化・代償に沿った配慮に関する評価 予測条件の変更に伴い、予測結果を更新した。
p. 7-290(544) (イ) 環境保全上の目標との整合性に関する評価	p. 8-348(636) イ) 環境保全上の目標との整合性に関する評価 予測条件の変更に伴い、予測結果を更新した。また、平水時の影響について評価を行った。

表 11.1-1(6) 準備書から評価書への修正の内容

8.1.7 水象（準備書 7.1.7）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
(なし)	p. 8-357(645) ② 現地調査 周辺の湧水について記述を追加した。
p. 7-302(556) (イ) 地下水位の観測結果	p. 8-362(622) (イ) 月 1 回調査の結果 観測した地下水の深さについて記述を追加した。
p. 7-304(558) ② 予測結果	p. 8-365(653) (オ) 予測結果 土地表面の状況の変化による水象への影響を検討し記載した。
(なし)	p. 8-366(654) (オ) 予測結果 対象事業実施区域の造成に伴う水路の変化による水象への影響を検討し記載した。
p. 7-305(559) ② 予測結果	p. 8-367(655)、8-368(656) (オ) 予測結果 地下水の採水深さと、採水深さの違いによる影響について検討し記載した。 また、周辺での地下水利用に対する影響について検討し記載した。
8.1.8 地盤沈下（準備書 7.1.8）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 7-312(566) (カ) 予測結果	p. 8-376(664)、8-377(665) (オ) 予測結果 地盤沈下の範囲と程度、また、施設の自重による沈下の可能性について検討し記載した。
8.1.9 土壌汚染（準備書 7.1.9）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 7-318(572) ① 既存資料調査	p. 8-384(672) ① 既存資料調査 土地利用の状況について、現地調査地点周辺まで範囲を拡げて整理した。
p. 7-320(574) (7) ダイオキシン類	p. 8-387(675)、8-388(676) (7) ダイオキシン類 ダイオキシンの組成と由来に関する検討を追加した。
(なし)	p. 8-390(678) 表 8.1.9-7 バックグラウンド濃度の説明を追加した。
p. 7-323(577) 表 7.1.9-8～表 7.1.9-9	p. 8-390(678)～8-392(680) 表 8.1.9-9～表 8.1.9-10 大気汚染の再予測結果により、予測結果を更新した。
p. 7-325(579) ② 環境保全上の目標との整合性に関する評価	p. 8-395(683) 表 8.1.9-9～表 8.1.9-13 大気汚染の再予測結果により、予測結果を更新した。

表 11.1-1(7) 準備書から評価書への修正の内容

8.1.10 日照障害（準備書 7.1.10）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 7-330(584) (2) 調査の結果	p. 8-400(688) (2) 調査の結果 調査日時の設定根拠について記載した。
(なし)	p. 8-400(688) 1) 地形、工作物の状況 地形、工作物の状況の調査結果を追加した。
p. 7-332(586) 7) 日影が生じる範囲及び変化の程度	p. 8-403(691) i 日影が生じる範囲及び変化の程度 等時間日影図の作成による予測結果を記載した。
(なし)	p. 8-403(691) 表 8.1.10-6 影が生じる時間を記載した。
p. 7-333(587) 図 7.1.10-3(1) 及び(2)	p. 8-404(692) 図 8.1.10-3(1) 及び(2) 時刻別日影図の作成時間を修正し、7 時及び 17 時の影の線を追加した。
(なし)	p. 8-405(693) 図 8.1.10-4(1) 及び(2) 等時間日影図を作成した。
p. 7-334(588) イ) 日影の変化の程度	p. 8-406(694) ii 日影の変化の程度 予測結果に関する考察を追記した。

表 11.1-1(8) 準備書から評価書への修正の内容

8.2.1 陸上植物（準備書 7.2.1）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 7-343(597) (2) 調査の結果	p. 8-417(705) (2) 調査の結果 調査範囲についての記述を追加した。
p. 7-356(610)～7-359(613) 表 7.2.1-10(1)～(8)	p. 8-431(719) 表 8.2.1-10 植物種を同定する際の識別点を記載した。また、個体等の写真を予測結果に移動した。
p. 7-362(616)、7-363(617) 表 7.2.1-12(1)、(2)	p. 8-439(727)～8-446(734) 表 8.2.1-12(1)～(8) 個体等の写真を調査結果から移動した。また、個体等について現地で撮影した写真には撮影日を記載した。「工事中」と「存在・供用時」の予測結果を分けて記載した。
p. 7-362(616)、7-363(617) 表 7.2.1-12(1)、(2) ミズマツバ、ウスゲチョウ ジタデ、コギシギシ、カワヂ シャ	p. 8-441(729)、8-442(730)、8-444(732)、8-445(733) 表 8.2.1-12(3)、(4)、(6)、 (7) 水質の変化及びミズマツバ等への影響を検討し記載した。
p. 7-366(620)～7-369(623) 3) 環境の保全のための措置	p. 8-450(738)、p. 8-458(746) 3) 環境の保全のための措置 保全対象種それぞれについて必要な環境と、代償措置として創出する生育環境の詳細を記載した。
8.2.2 陸上動物（準備書 7.2.2）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 7-386(640) ① 定点調査	p. 8-476(746) 7) 定点調査 確認状況の詳細を記載した。
p. 7-395(649)～7-407(661) 表 7.2.2-20(1)～(25)	p. 8-487(775) 表 8.2.2-20(1) 個体等の写真を予測結果に移動した。 猛禽類（オオタカ、フクロウ）について確認状況の詳細を記載した。
p. 7-425(679)～7-435(689) 表 7.2.2-23(1)～(11)	p. 8-508(796)～8-550(838) 表 8.2.2-23(1)～(25) 個体等の写真を調査結果から移動した。また、個体等について現地で撮影した写真には撮影日を記載し、そうでない写真には出典を記載した。 猛禽類（オオタカ、フクロウ）について確認状況の詳細を記載した。 「工事中」と「存在・供用時」の予測結果を分けて記載した。
p. 7-438(692)～7-441(695) 3) 環境の保全のための措置	p. 8-555(843)～8-561(849) 3) 環境の保全のための措置 代償措置として創出する生息環境の詳細を記載した。 保全対象であるコウフオカモノアラガイの移設個体数を記載した。
8.2.3 水生生物（準備書 7.2.3）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 7-460(714)～7-464(718) 表 7.2.3-12(1)～(7)	p. 8-580(868) 表 8.2.3-12 カワヂシャの遺伝子攪乱の可能性を記載した。 また、個体等の写真を予測結果に移動した。
p. 7-469(723)～7-471(725) 表 7.2.3-14(1)～(3)	p. 8-587(875)～8-594(82) 表 5.2.3-14(1)～(7) 個体等の写真を調査結果から移動した。また、個体等について現地で撮影した写真には撮影日を記載した。「工事中」と「存在・供用時」の予測結果を分けて記載した。水質・水象の変化による影響について検討を行い、検討結果を記載した。
p. 7-474(728)～7-477(731) 3) 環境の保全のための措置	p. 8-598(886)～8-606(894) 3) 環境の保全のための措置 代償措置として創出する生息環境の詳細を記載した。

表 11.1-1(9) 準備書から評価書への修正の内容

8.2.4 生態系（準備書 7.2.4）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
7-479(733) 表 7.2.4-1(1)	p. 8-609(897) 表 5.2.4-1(1) オオタカの餌資源量調査を追加した。
7-488(742) ①上位性の注目種	p. 8-618(906) ① 上位性の注目種 フクロウについて検討を行い、その結果を記載しました。
7-492(746) (7) 調査手法	p. 8-622(910) ① 上位性の注目種（オオタカ） イ) 餌資源量調査を追加した。
(エ) 調査結果	p. 8-623(911)～8-625(913) (エ) 調査結果 ア) 現地調査において、オオタカの確認状況の詳細を記載した。 イ) 餌資源量調査の結果を記載した。
7-502(756) ①上位性の注目種 （オオタカ）	p. 8-635(923)～8-639(927) (ア) 行動圏解析 行動圏解析結果を項として独立させ、内容の再検討を行った。
	p. 8-640(928)～8-642(930) (イ) 餌資源量調査 餌資源量に関する検討結果を記載した。
	p. 8-643(931)～8-644(932) (ウ) 予測結果 確認状況の詳細を記載し、行動圏解析、餌資源量調査結果をふまえた予測結果とした。

表 11.1-1(10) 準備書から評価書への修正の内容

8.3.1 景観（準備書 7.3.1）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 514(768) 表 7.3.1-1(2)	p. 8-654(942) 表 8.3.1-1(2) 調査地点に「東花輪駅」「甲斐上野駅」「JR 身延線笛吹川鉄橋」「伊勢塚古墳」を追加した。また、シークエンス景観の予測を行うことを記載した。
p. 7-516(770) 表 7.3.1-2	p. 8-656(944) 表 8.3.1-2 調査地点に「東花輪駅」「甲斐上野駅」「JR 身延線笛吹川鉄橋」「伊勢塚古墳」を追加した。
p. 7-517(771) 図 7.3.1-1	p. 8-657(945) 図 8.3.1-1 調査地点に「東花輪駅」「甲斐上野駅」「JR 身延線笛吹川鉄橋」「伊勢塚古墳」を追加した。
p. 7-518(772) 図 7.3.1-2	p. 8-658(946) 図 8.3.1-2 調査地点に「東花輪駅」「甲斐上野駅」「JR 身延線笛吹川鉄橋」「伊勢塚古墳」を追加した。
(なし)	p. 8-659(947) 図 8.3.1-3 シークエンス景観の調査地点を追加した。
(なし)	p. 8-673(961)～8-676(964) 表 8.3.1-5(12)～(15) 「東花輪駅」「甲斐上野駅」「JR 身延線笛吹川鉄橋」「伊勢塚古墳」の調査結果を追加した。
(なし)	p. 8-677(965)～8-683(971) 表 8.3.1-6(1)～(7) 夜景の調査結果を追加した。
(なし)	p. 8-687(975) 表 8.3.1-9 景観予測の組み合わせについて整理した。
p. 7-534(788) (イ) 予測結果	p. 8-689(977)、8-690(978) (イ) 予測結果 追加予測（追加予測地点、附属物、塗装による航空法対応、次期施設を含む景観、夜景、シークエンス景観）の結果を記載した。
p7-535 表 7.3.1-8	p. 8-691(979) 表 8.3.1-12 追加予測地点「東花輪駅」「甲斐上野駅」「JR 身延線笛吹川鉄橋」「伊勢塚古墳」での予測結果を追加した。
(なし)	p. 8-712(1000)～8-715(1003) 表 8.3.1-13(21)～(24) 追加予測地点「東花輪駅」「甲斐上野駅」「JR 身延線笛吹川鉄橋」「伊勢塚古墳」での景観予想図を追加した。
(なし)	p. 8-725(1013)～8-728(1016) 表 8.3.1-15(1)～(4) 緑化の実施を環境配慮事項としたことをうけて、植栽等を反映した予測結果を追加した。
(なし)	p. 8-730(1018) 表 8.3.1-17 附属物による影響を反映した景観予想図を追加した。
(なし)	p. 8-731(1019) 表 8.3.1-18 塗装による航空法対応を行った場合の景観予想図を追加した。
(なし)	p. 8-732(1020) 表 8.3.1-19 次期施設並立時の景観予想図を追加した。
(なし)	p. 8-733(1021)、8-734(1022) 表 8.3.1-20(1)、(2) 夜景の景観予想図を追加した。
(なし)	p. 8-735(1023)～8-741(1029) 表 8.3.1-21(1)～(7) シークエンス景観の予測結果を追加した。

表 11.1-1(11) 準備書から評価書への修正の内容

8.3.2 人と自然との触れ合い活動の場（準備書 7.3.2）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 7-584(838) 表 7.3.2-1(1)	p. 8-760(1048) 表 8.3.2-1(1) 調査地点に「道の駅とよとみ」を追加した。
p. 7-585(839) 表 7.3.2-2	p. 8-761(1049) 表 8.3.2-2 調査地点に「道の駅とよとみ」を追加した。
p. 7-586(840) 図 7.3.2-1	p. 8-762(1050) 図 8.3.2-1 調査地点に「道の駅とよとみ」を追加した。
(なし)	p. 8-763(1051) ①既存資料調査 「道の駅とよとみ」の利用状況に関する既存資料調査結果を記載した。
p. 7-590(844) 表 7.3.2-7	p. 8-766(1054) 表 8.3.2-9 「道の駅とよとみ」における予測結果を追加した。
p. 7-590(844) 表 7.3.2-8	p. 8-767(1055) 表 8.3.2-10 「道の駅とよとみ」における予測結果を追加した。
p. 7-593(847) ア) 環境影響の回避・最小化・代償に沿った配慮に関する評価	p. 8-770(1058) ア) 環境影響の回避・最小化・代償に沿った配慮に関する評価 「道の駅とよとみ」に対する影響の評価について追加した。
8.4.1 廃棄物・発生土（準備書 7.4.1）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 7-596(850) ア) 残土発生量	p. 8-774(1062) ア) 残土発生量 残土発生量についての記述を追加した。
p. 7-598(852) (ウ) 予測結果	p. 8-777(1065)～8-779(1067) (ウ) 予測結果 基本設計の確定により、施設の稼働に伴う廃棄物量の再予測を行った。 埋立処分に関する記述を追加した。
8.4.2 大気汚染物質・水質汚濁物質（準備書 7.4.2）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 7-605(859) (イ) 予測手法	p. 8-786(1074) (イ) 予測手法 基本設計の確定により、排水計画を更新した。
p. 7-605(859) (ウ) 予測結果	p. 8-789(1077) (ウ) 予測結果 基本設計の確定により、施設の稼働による大気汚染物質排出量の再予測を行った。
p. 7-605(859) 表 7.4.2-2	p. 8-791(1079) 予測結果 基本設計の確定により、施設の稼働による大気汚染物質排出量の再予測を行った。

表 11.1-1(12) 準備書から評価書への修正の内容

8.4.3 温室効果ガス等（準備書 7.4.3）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 7-609(863) 表 7.4.3-2	p. 8-798(1086) 表 8.4.3-2 基本設計の確定により、廃棄物の焼却処理量を変更した。
p. 7-609(863) (ウ) 予測結果	p. 8-799(1087) (ウ) 予測結果 施設の稼働による温室効果ガス排出量の再予測結果を反映した。
p. 7-611(865) (エ) 予測結果	p. 8-800(1088)、8-801(1089) (エ) 予測結果 施設の稼働による温室効果ガス排出量の再予測結果を反映した。
8.5.1 地域交通（準備書 7.5.1）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 7-616(870) 表 7.5.1-1(2)	p. 8-808(1096) 表 7.5.1-1(2) 国道 140 号の対象事業実施区域全面の断面における混雑度の予測を追加した。
p. 7-629(883) ii 交通条件	p. 8-822(1110) ii 交通条件 資材等の運搬車両台数の設定根拠について記述した。
(なし)	p. 8-850(1136)～8-857(1143) ② 道路断面における交通量の状況 国道 140 号の対象事業実施区域全面の断面における混雑度の予測を追加した。 また、施設入り口の右折専用車線における、搬入車両の右折可能性についても検討を行い、その結果を追記した。
p. 7-659(913) ② 環境保全上の目標との整合性に関する評価	p. 8-865(1151)、8-866(1152) ② 環境保全上の目標との整合性に関する評価 道路断面における混雑度の比較対象（混雑度の解釈）を追加し、断面の予測結果に対する評価を追加した。

表 11.1-1(13) 準備書から評価書への修正の内容

第9章 事後調査計画（準備書第8章）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
共通	調査地点及び調査地点について記述を詳しくした。
p8-1(917) 大気汚染	p. 9-2(1154) 大気汚染 造成の施工及び建設作業による粉じんについて、防じんネットの内外で降下ばいじん量調査を行うこととした。
8-1(917) 騒音	p. 9-2(1154) 騒音・振動 建設機械の稼働による騒音・振動について、調査地点として、敷地境界3地点に加え、周辺住宅地4地点でも調査を行うこととした。
8-1(917) 騒音	p. 9-2(1154) 騒音・振動 資機材の運搬車両台数及び騒音・振動への寄与の程度について、事後調査により把握することとした。
8-1(917) 水質汚濁	p. 9-3(1155) 水質汚濁 仮設濁水処理施設の処理前後において水質（pH、浮遊粒子状物質）を把握することとした。
8-2(918) 地域交通	p. 9-5(1157) 地域交通 資機材の運搬車両台数及び地域交通への寄与の程度について、事後調査により把握することとした。
8-3(919) 大気汚染	p. 9-6(1158) 大気汚染、土壌汚染、環境負荷（大気汚染物質） 環境大気中の大気汚染物質について、最大着地濃度出現地点付近1地点で調査することとした。
(なし)	p. 9-7(1159) 悪臭 排ガスによる悪臭の影響について、排ガス中の臭気指数（臭気濃度）を事後調査で把握することとした。
(なし)	p. 9-7(1159) 悪臭 悪臭の漏洩に関して、対象事業実施区域2地点及び住宅地4地点で臭気指数を調査することとした。
(なし)	p. 9-7(1159) 騒音・振動 施設の稼働による騒音・振動について、敷地境界3地点及び住宅地4地点で騒音レベル・振動レベルを調査することとした。
(なし)	p. 9-8(1160) 騒音・振動 廃棄物の運搬車両台数及び騒音・振動への寄与の程度について、事後調査により把握することとした。
(なし)	p. 9-7(1160) 低周波音 施設の稼働による低周波音について、敷地境界3地点で音圧レベルを調査することとした。
8-3(919) 地盤沈下（地盤沈下の防止）	p. 9-8(1160) 地盤沈下 水象（地下水位）及び地盤沈下について、地盤高さの変化を事後調査で把握することとした。
(なし)	p. 9-8(1160) 日照阻害 施設の存在による日照阻害への影響について、日影発生時間を事後調査により把握することとした。
8-5(921) 環境負荷	p. 9-11(1163) 環境負荷 施設の稼働に伴う廃棄物排出量等について、事後調査により把握することとした。
(なし)	p. 9-11(1163) 景観 施設の存在による景観への影響について、事後調査により把握することとした。
8-5(921) 地域交通	p. 9-11(1163) 地域交通 交差点2地点とは別に、施設入り口における交通量等を、事後調査により把握することとした。

表 11.1-1(14) 準備書から評価書への修正の内容

第 10 章 対象事業に係る環境影響の総合評価（準備書 第 9 章）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
共通の変更	「第 8 章 環境影響評価の結果」の変更により更新した。
p. 9-74(996) 9.2.1 処理方式	p. 10-106(1270)、10-107(1271) 10.2.1 処理方式 複数案の比較結果について検討結果を追加した。また、表中に環境への影響をもとに設定した順位を記載した。
(なし)	p. 10-107(1271) 図 10.2.1-1、図 10.2.1-2 複数案の比較結果について、図を追加した。
p. 9-75(997) 9.2.2 煙突高さ	p. 10-108(1272) 10.2.2 煙突高さ 複数案の比較結果について検討結果を追加した。また、表中に環境への影響をもとに設定した順位を記載した。
p. 9-75(997) 9.2.3 施設の配置・形状	p. 10-108(1272)、10-109(1273) 10.2.3 施設の配置・形状 複数案の比較結果について検討結果を追加した。また、表中に環境への影響をもとに設定した順位を記載した。
p. 9-81(1003) 9.2.4 複数案に関する総合評価	p. 10-114(1278)、10-115(1279) 10.2.4 複数案に関する総合評価 複数案に関する総合評価について検討結果を追加した。
(なし)	p. 10-115(1279) 10.2.5 総合評価をふまえた環境保全措置 総合評価をふまえた環境保全措置について追加した。
第 11 章 準備書から修正した箇所及び内容の一覧（新規）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
(なし)	新規に作成した。
第 12 章 環境影響評価を行った事業者の氏名及び住所（準備書 第 11 章）	
環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 11-1(1007)	p. 12-1(1295) 支店長の変更に伴い、代表者氏名を更新した。